

令和5年度 第4回（第24期第1回）文化財保護審議会 会議録

1. 日 時 令和5年10月27日（金）午後6時00分

2. 出席者

委 員：白川 重敏、小坂 克信、和田 哲、坂本 要、鎌倉 佐保、
内野 秀重、眞下 祥幸、大橋 竜太、西村 慎太郎

事務局：立川市生涯推進センター長 庄司 康洋

立川市生涯推進センター文化財係長 浦島 利浩、文化財係 山路 隼人

3. 辞令交付及び、正・副会長の選出

委員より正・副会長は立川市在住であり、審議会委員を長期にわたって務めている者が好ましいとの意見あり、互選により、会長・白川重敏 委員、副会長・小坂克信 委員に決定した。

4. 報 告

1) 資料1 事業報告及事業予定について

事務局より令和5年度10月～12月の資料館・古民家園入園統計を報告。時期的に寒くなるにつれ入館者数は減少する傾向にある。令和4年度は団体見学等が新型コロナウイルスの影響で減っていたが、徐々に戻りつつある。資料館は令和4年度に比べさほど変わりはないが古民家園は微増している。

合わせて、歴史民俗資料館の屋根防水工事、古民家園の貯穀蔵、外便所等杉皮屋根、市指定有形文化財小林家住宅屋根棟の葺替え修繕を報告。

委員からの意見、質疑なし。

2) 資料2-1 歴史民俗資料館・古民家園 事業報告について

事務局より令和5年度10月～12月の資料館・古民家園で行った事業について報告。

第36回多摩郷土誌フェア開催及び関連講演会について報告。

資料2-2 歴史民俗資料館・古民家園 事業予定について

事務局より令和6年1月～令和6年4月の資料館・古民家園で行う事業について報告。

委員からの意見、質疑なし。

3) 資料3 埋蔵文化財調査及び調査報告書について

事務局より、10月から1月までに現地調査を行った資料3「埋蔵文化財調査報告」に沿って報告。No.4の川越道西遺跡では宅地造成を原因にする確認調査を実施した。11月末に行ったが、遺跡に伴う遺構遺物等は確認されなかった。No.6向郷遺跡は広範囲に水道管の布設替えを行う工事のため、適宜立会調査を行っている。遺構遺物等は確認されていない。

委員：確認調査及び試掘調査について、令和6年度より東京都の対応が変わると聞いたが、その状況についてどう考えているか。

事務局：国庫補助事業として確認調査等を実施しているが、年度間の対象事業費の下限額が決められたことや、対象経費のうち指導謝礼の項目が従前と取扱い方を変更すると説明を受けています。立川市の埋蔵文化財事業としては特段の影響はありません。

5. 議 題

1) 資料6 市指定有形文化財の指定について

事務局：4月27日（木）教育委員会定例会において諮問のあった4件の文化財について作成した答申案の内容について確認の上ご意見をいただきたい。

委員：古過去帳について、年不詳としているが、資料の正確性を期すのであれば「元禄四年後」は決まっているため、例えば元禄四年以降や江戸中期と記すことも可能と考えられます。

事務局：資料の性質的に3点を一体として考える場合ある程度時代の幅が示されている方が良いと考えるため年不詳「江戸中期」と修正します。

委員：普濟寺梵鐘について、「平成21年（2009）に鐘楼より取り外され」とあるが、取り外された理由について記載した方が良いのではないか。

事務局：建築物の保安上の理由などに係る語意の追記を検討します。

委員：普濟寺境内并堂塔図の翻刻について「此図面の通」の“の“は、片仮名の“ノ“である。また、「寺社奉行所に差出し候」は「寺社奉行所江差出申し候」である。

事務局：再度確認して修正します。

事務局で修正したものを会長・副会長に、後日確認いただき、答申を教育委員会に提出します。次回令和6年4月の文化財保護審議会で委員皆様に報告します。

6. 情報交換

- ・ポケット学芸員の導入について事務局より報告。

次回開催予定 令和6年4月26日（金）18時～ 歴史民俗資料館